

マイタイムラインの教材提供

○タイムラインとは？

タイムラインは、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、災害（氾濫）発生までの約3日間の事態を想定し、時間軸に沿って予め防災行動を整理しておくものです。

○マイタイムラインとは？

マイタイムラインは、住民一人一人が、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を時間軸に沿って予め検討するものです。

マイ・タイムライン ノート

名前 _____

町名	板倉町
河川名	利根川、渡良瀬川
避難所名	名前

家族全員が記入しな
いよう。

みんなでタイムラインプロジェクト

表紙



最大浸水深の分布

マイタイムラインノートの記載情報



マイタイムラインで考える
河川の氾濫発生までの事前行動

◆マイタイムラインの紹介、検討ツールについては、国土交通省下館河川事務所のホームページ「★みんなでタイムラインプロジェクト★」に、詳しい内容が公開されています。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00285.html>

(3) 関連情報

◆国土交通省のホームページ「**防災教育ポータル**」に、防災教育に役立つ最新の取組み内容や授業で使用できる教材例・防災教育の事例、問合せ窓口が紹介されています。

○！トピックス： 最新の取組

- ・学校関係者向け「水災害からの避難訓練ガイドブック」
- ・子供向け動画「洪水から身を守るには ～命を守るための3つのポイント～」
- ・「命を守る」イラスト集・防災カードゲーム「このつぎなにがおきるかな？」

○教材： すぐに使える教材パッケージ

○素材： 伝わりやすい写真やイラスト

○手引き： これからはじめる際の進め方

○事例： 学年別・分野別の事例

国土交通省 **防災教育ポータル**

最新の取組 | トピックス | すぐに使える教材パッケージ | 教材 | 伝わりやすい写真やイラスト | 素材 | これからはじめる際の進め方 | 手引き | 学年別・分野別の事例 | 事例

教材

授業で使える教材が欲しい人はこちら

!? 足下が見えない中歩くと、マンホールや水路に気づかず落ちてしまうことがあるよ!

家の周りが水に浸かる前に安全な場所に逃げよう!

国土交通省のホームページ「防災教育ポータル」

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>

【お問合せ先】

国土交通省 関東地方整備局
利根川上流河川事務所 防災対策課

〒349-1198 埼玉県久喜市栗橋北二丁目19-1

TEL:0480-52-3956 FAX:0480-52-9529 E-mail:ktr-tonejo-saitai@mlit.go.jp

利根川上流域関係市区町における 防災教育の推進に向けて

水害から命を守るために、一人一人が水害時において自ら判断し適切な避難行動をとる能力を養う防災教育を推進していきます。



(写真：カスリーン台風による利根川の氾濫状況)



防災の3K

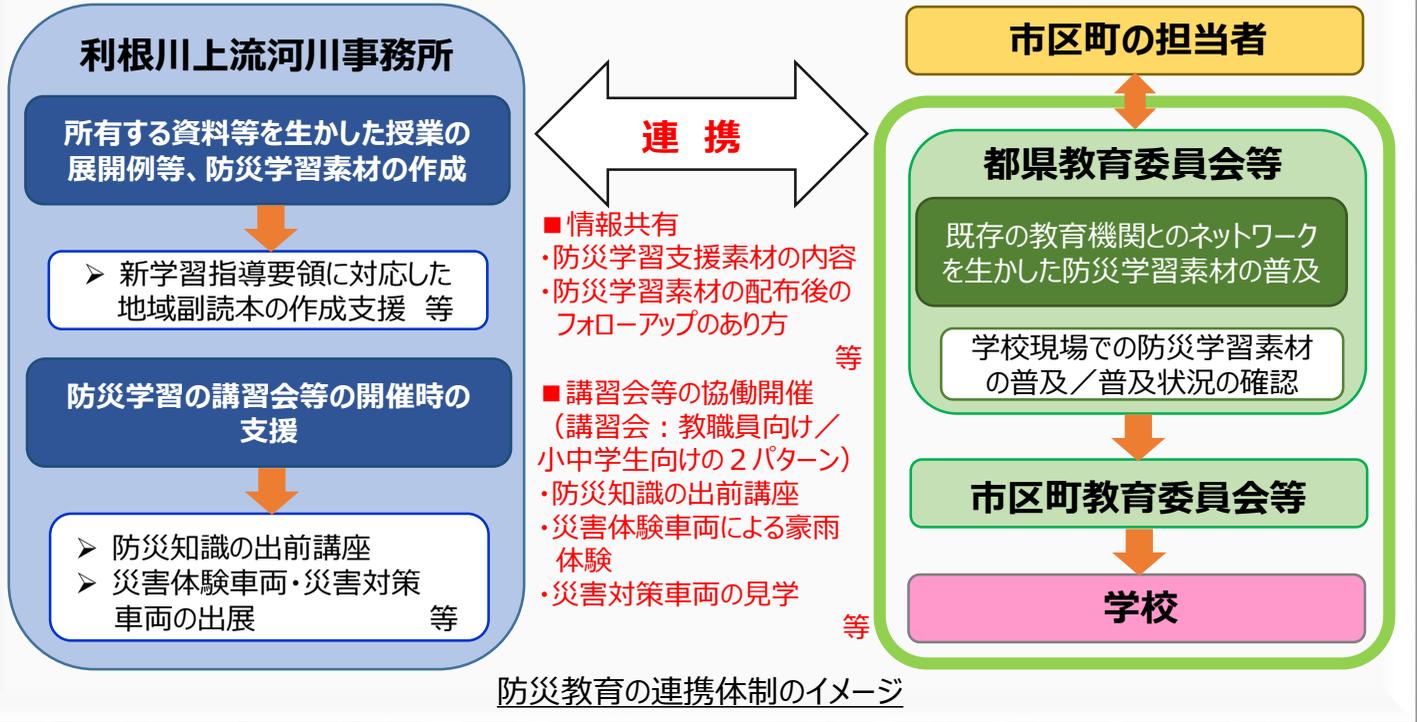
- ① **気づく Kizuku**
どこでも災害が起こり得ることに気づく
- ② **考える Kangaeru**
洪水ハザードマップをみて避難行動を考える
災害用の食べ物等を買うことを考えておく
- ③ **行動する Koudousuru**
避難所の道順を実際に歩いてみる
避難勧告の発令で早めに避難所へ行く

T O N E G A W A

1 取組の概要

(1) 目的

◆本取組は、教育委員会・学校等と河川事務所が連携し、学校の教職員や生徒を対象とする防災教育を進めることにより、**水害等の災害時に適切な避難行動をとることができる子どもたち及び指導者の育成**を行うとともに、**子どもから家庭、さらには地域へと防災知識等が浸透していく**ことを期待するものです。



(2) 支援内容 ～所有する資料等を生かした授業の展開例等、防災学習素材の作成例～

新学習指導要領に対応した地域副読本の作成支援

◆新学習指導要領（平成32年～全面実施）を踏まえ『**地域で起こりえる災害**』、『**自然災害から人々を守る活動**』等の利根川上流域に関わる防災学習素材の提供等について支援します。

科目別支援内容の例

主な対象教科	テーマ	
	小学校	中学校
社会	○水位と避難行動の関係	○浸水の危険性 ○流域の特性 ○防災情報の取得
理科	○地形と水位の関係	○過去の水害要因
特別活動	○防災情報の取得	

水害からくらしを守るため、国や県では、どのような取り組みをしているのでしょうか。

<p>わたらせせきあふすいぢ</p> <p>渡良瀬遊水地</p> <p>栃木、群馬、埼玉、茨城4県の県境にまたがる、広大な渡良瀬遊水地は川の水が急に増えたとき、その一部を貯めて下流に流れる量を減らす役割を持っています。</p>	<p>しよとけんがいくはくすいぢ</p> <p>首都圏外郭放水路</p> <p>くまづかわ、おおおしらのもとれがわ ころすいを取りこみ、地下50mに整備した延長6.3kmのトンネルを通して、江戸川に流す、世界最大級の地下放水路です。</p>	<p>ていぼり きょうか</p> <p>堤防の強化</p> <p>堤防の内部に水がふくまれていると、水がもれ出て決壊しないように、堤防を強化するためにはばを広く作りかえています。</p>
<p>あふしみとはらんから</p> <p>街を守るしせつ</p> <p>小さな川、大きな川</p> <p>ポンプ場は、小さな川にたまる水をくみあげて、大きな川に流す役わりをします。水門は、大きな川から小さな川へ水が逆流しない様に調節します。</p>	<p>かせんじむしよ</p> <p>河川事務所の災害対策室</p> <p>非常時に、被害が拡大しないように、遊水地や管理している川をモニターで確認したり気しよう庁や市役所と連絡をとり情報をやりとりしたりして対応しています。</p>	<p>かせんぼうさい</p> <p>河川防災ステーション</p> <p>堤防がこわれた時などに堤防を修理する基地になります。水防センターやヘリポート、資材があります。</p>

地域副読本の記事作成支援のイメージ

小学生／教職員向けの講習会の開催支援

○教職員向け講習会の開催支援

◆**小中学校の教職員等**を対象に、利根川のカスリーン台風の氾濫記録や、自ら判断し適切な避難行動をとるための心構え等についての講話や、参加者同士の意見交換会、災害体験車による豪雨体験他の支援を行います。



利根川の氾濫に関する講話の様子



参加者同士の意見交換の様子

参加者の感想例

■講話を振り返って

○カスリーン台風の被害を実際の映像を見せていただいたので、実感をもって危機感をもった。

■防災教育について課題に感じていることと情報交換して感じたこと

○学校では、震災や火災の避難訓練を行うが、水害については対策をしていない。

○教員に知識が足りないことが大きな課題。

■体験を通して感じたこと

○雨量等、数値で示されてもわからないが体験することで立っていること自体の困難さが実感できた。

○小学生向け講習会の進め方

◆**小中学校の生徒**を対象に、「氾濫の恐れがあるときに自ら判断し適切な避難行動をとるための心構え」や「自分のタイムラインを考慮しておく重要性」についての『講話』や、『災害体験車による豪雨体験』その他の支援を行います。

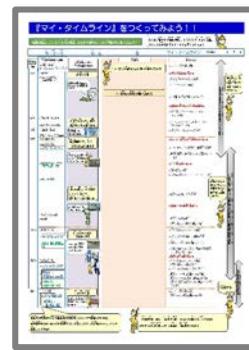
屋内の講習



河川事務所による講話の様子



マイタイムラインの講習の様子



マイタイムラインの様式(A3)

屋外の講習



豪雨体験車による体験の様子



災害対策車輜の見学の様子



水防工法の体験の様子

参加者の感想例

- 説明された防災の3Kを守って、気づいて、考えて、行動したいと思いました。
- 今回の水防学校に参加する前は、台風をこわいと思っていなかったが、川があふれる危険性と少しでも逃げ遅れると命が危険なるとわかり、とても良い勉強になりました。

- 洪水のとき避難する場所を確認し、台風がちかずにいたらすぐにいけるようにしたいです。
- マイタイムラインをつくらないと避難するのが遅れるかもしれないので、私もお父さん、お母さんに言ってマイタイムラインを作りたいと思います
- 災害に興味がなかったけれど、今回の水防学校で体験して、災害のこわさを知りました、ハザードマップや避難場所を確認しないといけないと思いました。